

空き巣をはじめとする住宅対象侵入窃盗は、最も安全安心な場所である住居に犯人が侵入して金品を盗むだけでなく、凶悪事件に発展するおそれがある手口であり、金銭的な被害だけでなく精神的ダメージも計り知れません。

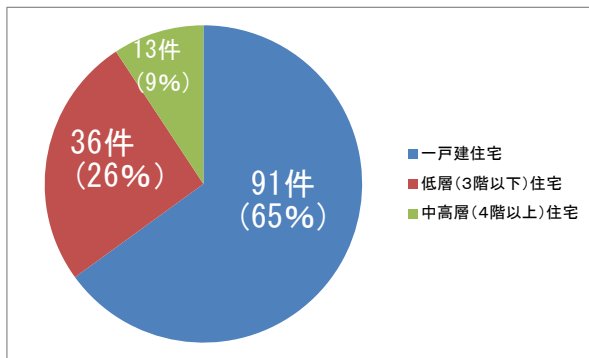
そのような被害に遭わないためにも、下記の分析結果や防犯器具を参考に防犯対策に努めて下さい。

1 平成28年中の住宅対象侵入盗（「空き巣」、「忍込み」、「居空き」）の認知件数

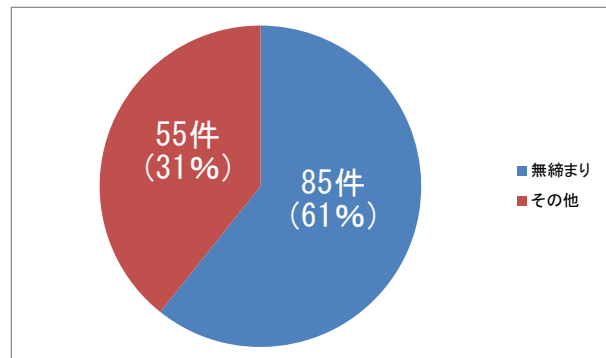
| | | |
|---------|------|------------------|
| 住宅対象侵入盗 | 140件 | (前年比-29件、-14.1%) |
| 内訳 | | |
| 空き巣 | 115件 | (前年比-12件、-9.4%) |
| 忍込み | 18件 | (前年比-13件、-41.9%) |
| 居空き | 7件 | (前年比-4件、-36.4%) |

2 平成28年中の住宅対象侵入盗の発生状況

(1) 建物の構造（全140件中）



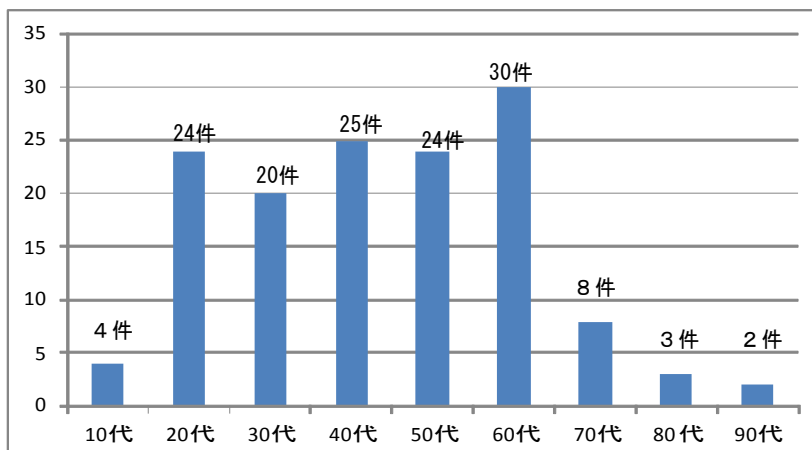
(2) 侵入手段（全140件中）



※低層住宅のうち、1階部分の被害は36件中22件

※その他はガラス破りなど無締まりのうち、1階の被害は85件中77件

(3) 被害者の年齢層（全140件中）



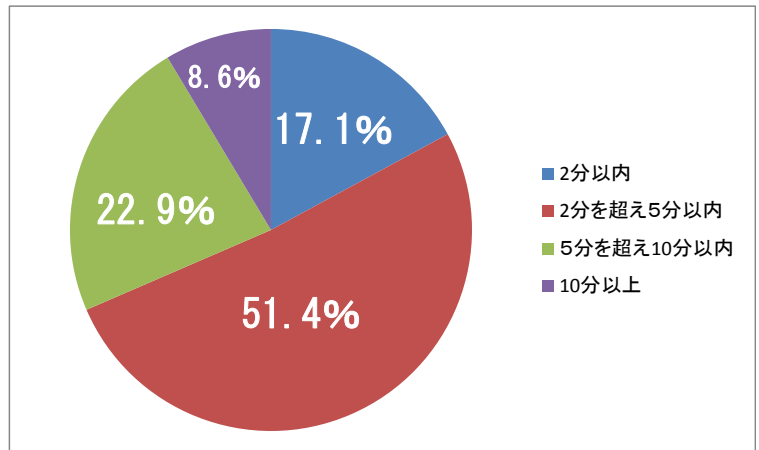
※ 定職を持ち、自宅を留守にすることが多い、いわゆる現役世代（65歳未満）が被害に遭いやすい傾向にある。

現役世代の被害率
79.2%（140件中111件）

3 防犯性能の基準

(財)都市防犯研究センターの資料によると、侵入に手間取り、犯行をあきらめる時間について「5分以内」と答えた窃盗犯人が約68%います。

つまり、窃盗犯人の攻撃に対して建物部品が「5分」耐えることができれば、約7割の窃盗犯人が侵入をあきらめるということになり、その5分という目安を防犯性能の基準にしています。



〈 窃盗犯人が侵入をあきらめる時間 〉

4 防犯性能が高い侵入防犯設備の紹介

防犯性能が高い住宅設備は、ドア関連（鍵を防犯性能が高いものに取り替える、強化ドアに取り替えるなど）のもの、窓関連（窓の外側に格子を取り付ける、サッシを二重ロックのものに取り替える）のものなどがありますが、ここでは

比較的安価で取り付けることが可能で、効果が高いもの

を紹介します。



- ★ 防犯フィルム
 - ・ 通常ガラスに貼って耐久性を高める専用のフィルム
 - ・ 特に耐貫通性があり、突き破りの手口に非常に有効
 - ・ フィルムはガラス全面に貼ることで効果が高まる
～クレセント錠付近に貼るだけでは不十分です～
 - ・ フィルムは約2,000円から購入可能



- ★ センサーライト
 - ・ 監視性を確保することで、窃盗犯人の侵入を防ぐ
 - ・ 約1,000円から購入可能



発生状況の分析結果を踏まえると、住宅対象侵入窃盗については、

- ・ 一戸建住宅や低層住宅の1階に居住する方
- ・ 現役世代（65歳未満）

が被害に遭いやすい傾向にあります。

皆さん、自宅の玄関や窓には必ず鍵を掛け、防犯設備（器具）を有効に活用して下さい！！